LONG TERM GOOD RELATION
いちよし証券

2018年3月期第2四半期決算説明会

いちよし証券株式会社
執行役社長
小林　稔
2017年11月27日（月）

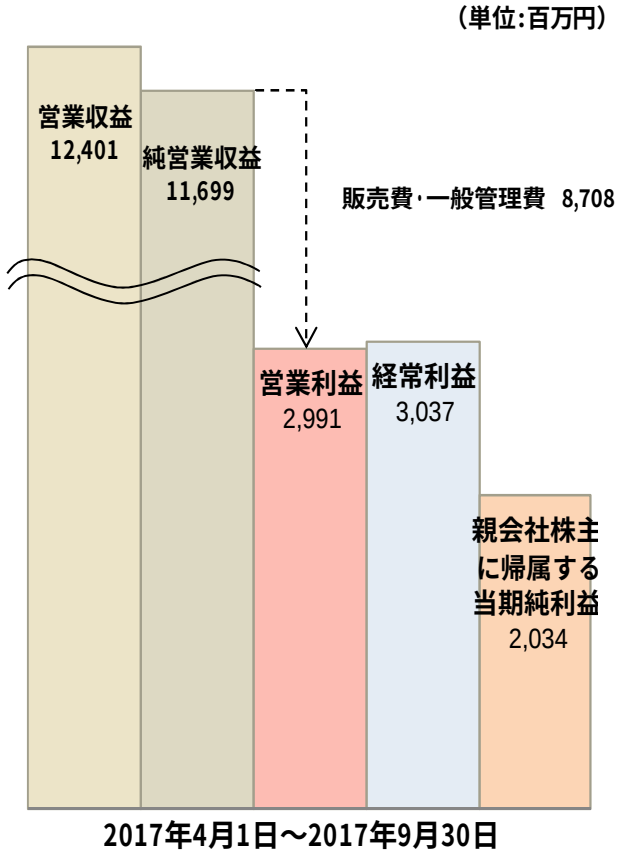
収支の状況

ICHIYOSHI SECURITIES

◆ 営業収益は、前年同期比23億5,500万円（23.4%）増加の124億100万円
◆ 経常利益は、前年同期比17億2,500万円（131.5%）増加の30億3,700万円
◆ 親会社株主に帰属する当期純利益は、前年同期比10億1,600万円（99.9%）増加の20億3,400万円

（単位：百万円）

	2017年3月期2Q	2018年3月期2Q	前年同期比増減率	前年同期比増減額
営業収益	10,046	12,401	23.4%	2,355
純営業収益	9,384	11,699	24.7%	2,314
販売費・一般管理費	8,103	8,708	7.5%	605
営業利益	1,281	2,991	133.4%	1,709
経常利益	1,312	3,037	131.5%	1,725
特別損益	▲33	▲11	—	22
法人税等	256	983	283.5%	726
親会社株主に帰属する当期純利益	1,018	2,034	99.9%	1,016



中期経営計画目標の進捗状況

2016.9

預り資産	16,532
株式	8,575
投信	7,102
ラップ	402
債券（その他）	451

ROE　6.6%
（2017年3月期第2Q累計年率換算）

主幹事44社

2017.9

預り資産	18,897
株式	9,773
投信	7,766
ラップ	722
債券（その他）	634

ROE　12.1%
（2018年3月期第2Q累計年率換算）

主幹事46社

2020.3

預り資産	35,000
株式	19,200
投信	13,200
ラップ	2,000
債券（その他）	600

ROE　15%以上

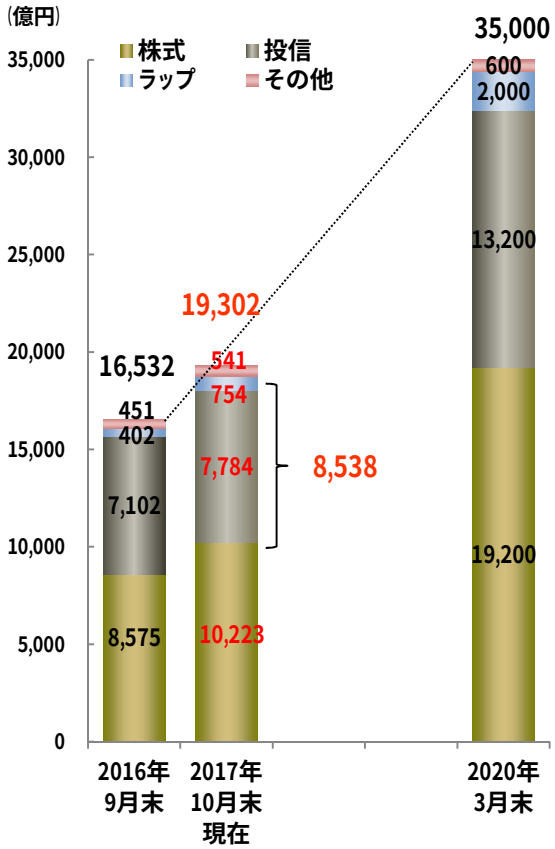
主幹事70社

（単位：億円）

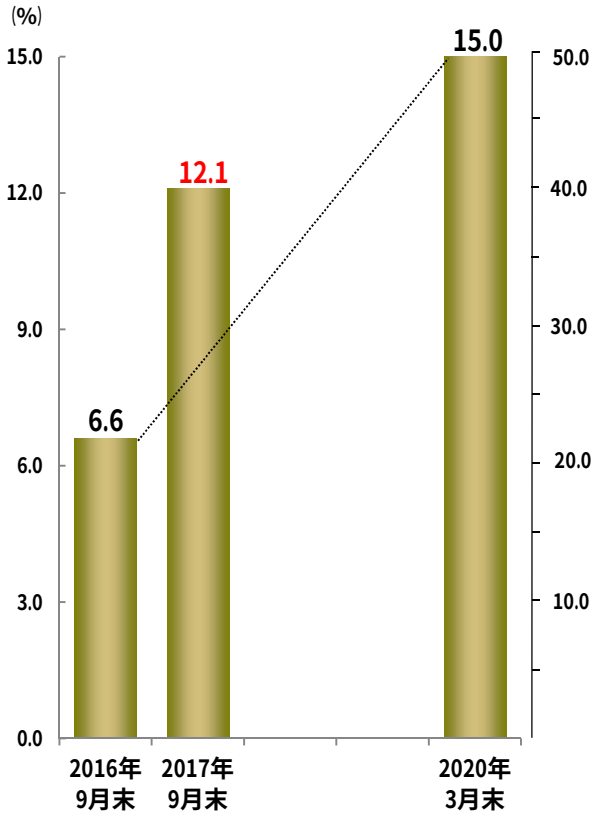
中期経営計画目標の進捗状況

12ヶ月 / 42ヶ月 の進捗状況

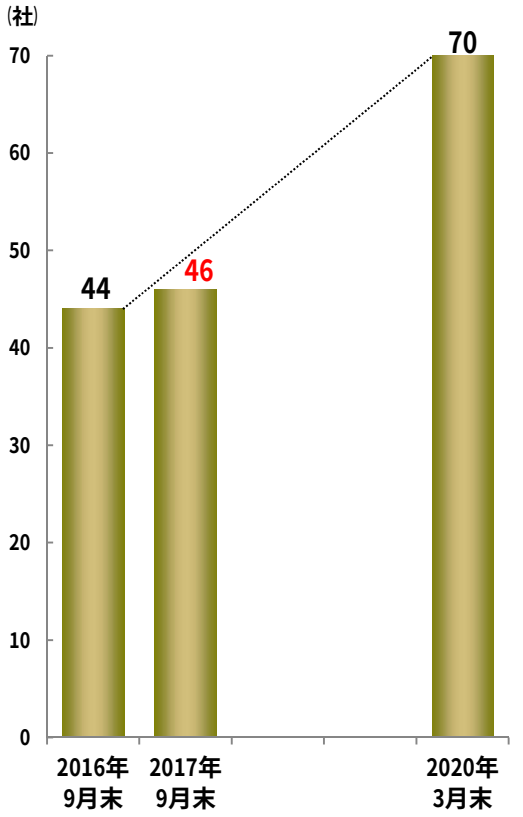
預り資産



ROE



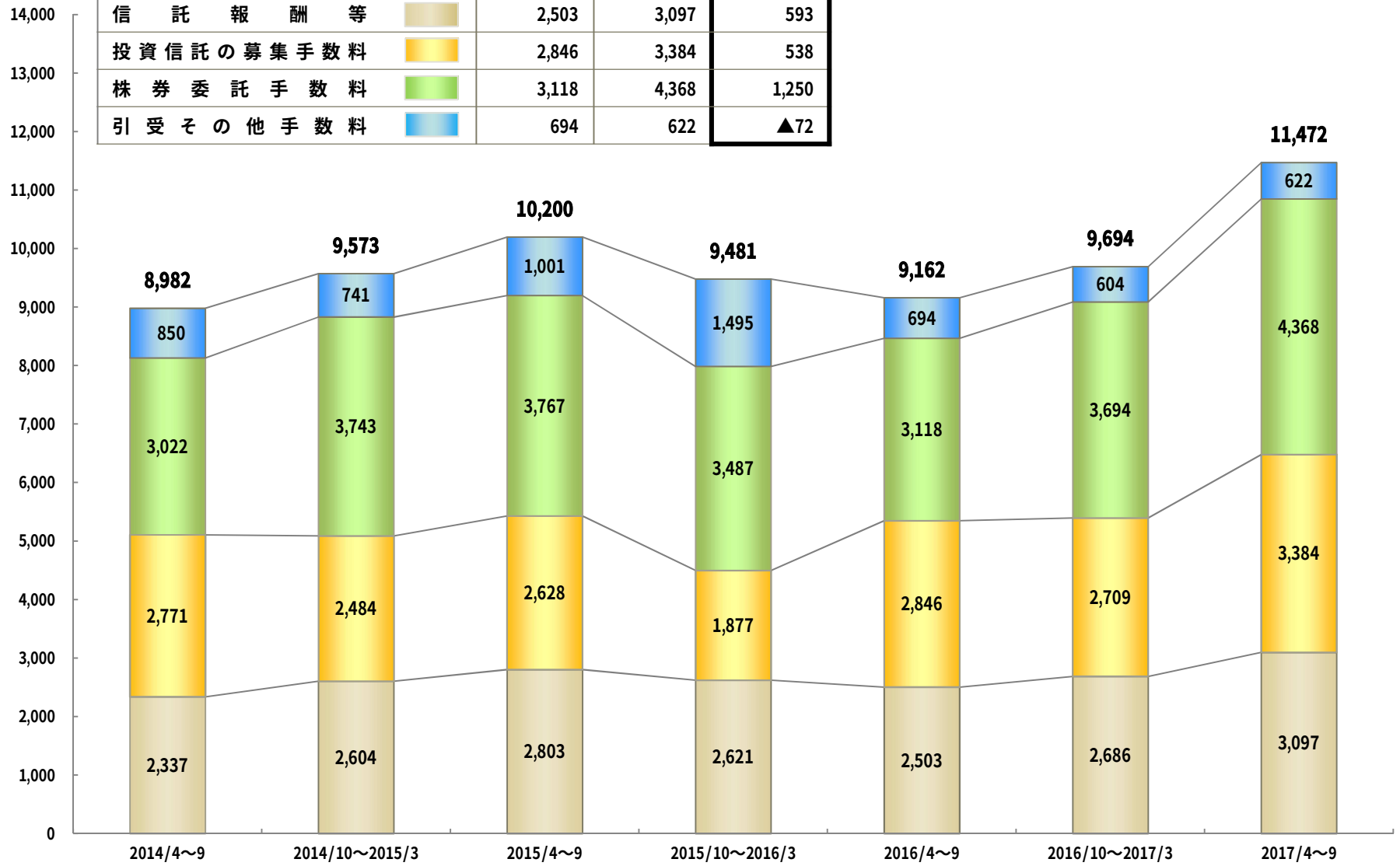
主幹事会社数



受入手数料の推移

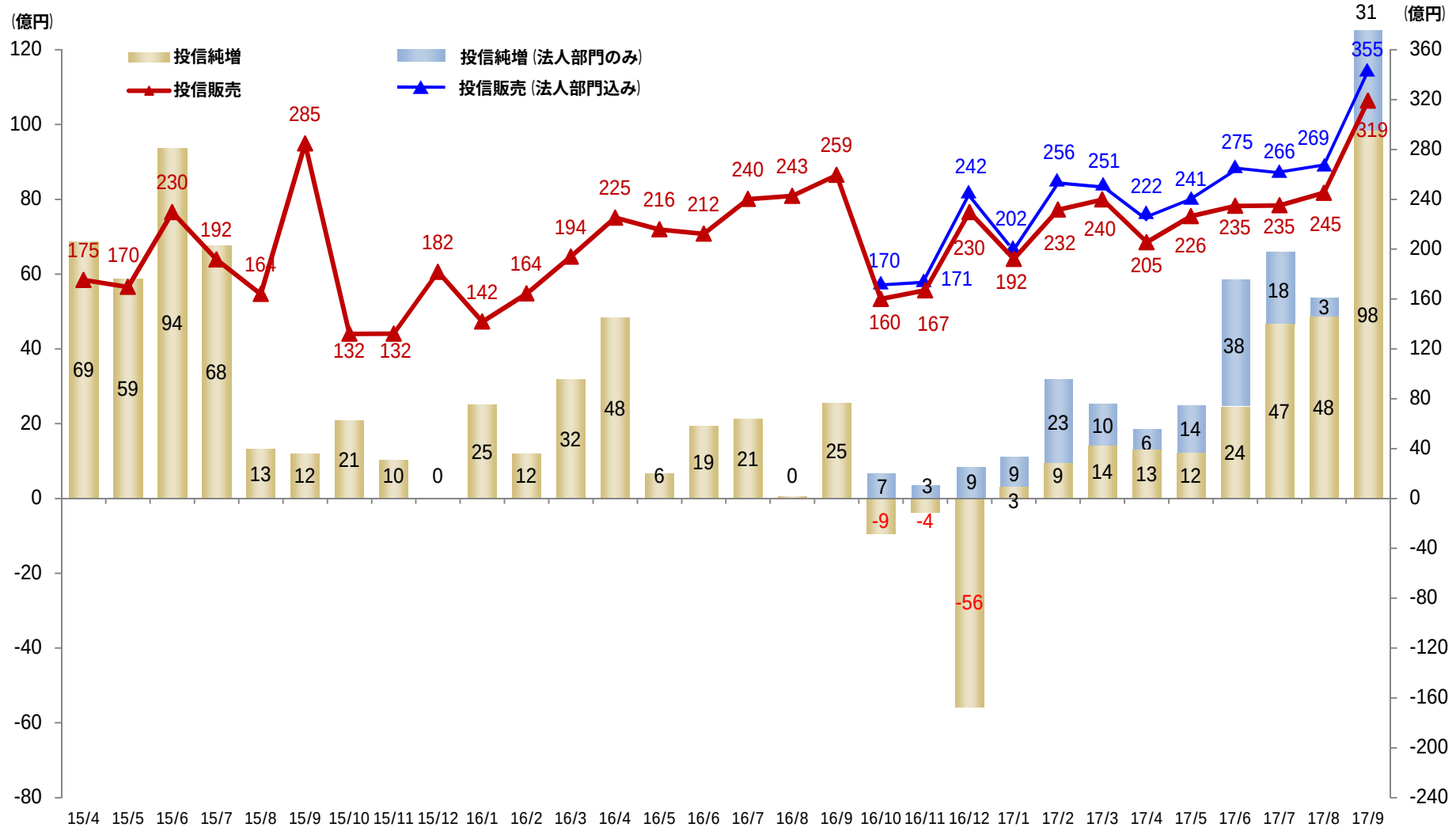
ICHIYOSHI SECURITIES

受入手数料	2017年3月期2Q	2018年3月期2Q	増減額
信託報酬等	2,503	3,097	593
投資信託の募集手数料	2,846	3,384	538
株券委託手数料	3,118	4,368	1,250
引受その他手数料	694	622	▲72



月間投信純増の推移

リテール部門における投信純増（買付-売却）、投信販売の推移



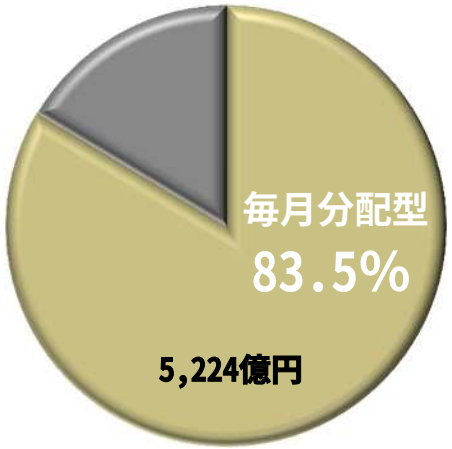
※ 投信純増、投信販売にはファンドラップを含む
※ 法人部門については2016年10月から表示

【参考】無分配投信への取組み

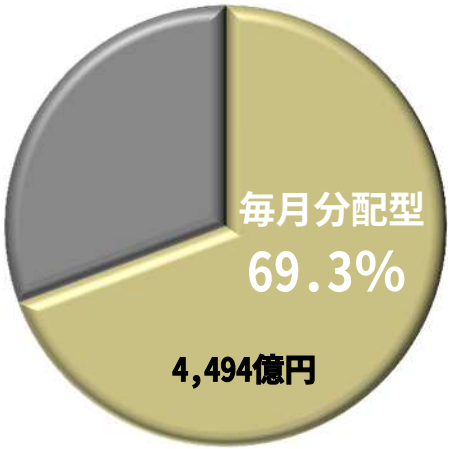
毎月分配型投信残高の推移

毎月分配型投信からの無分配投信へのシフト ⟶ 50：50を目指す

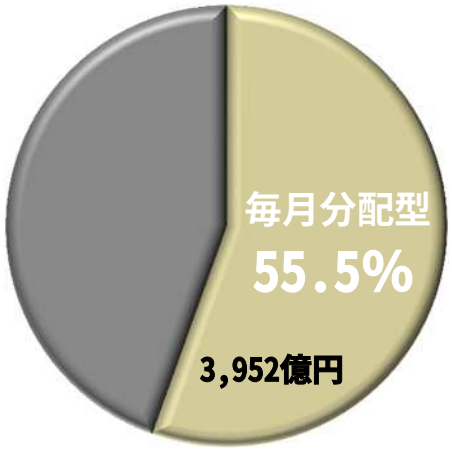
2013年3月末
株式投信残高　6,252億円



2016年9月末
株式投信残高　6,481億円



2017年9月末
株式投信残高　7,124億円

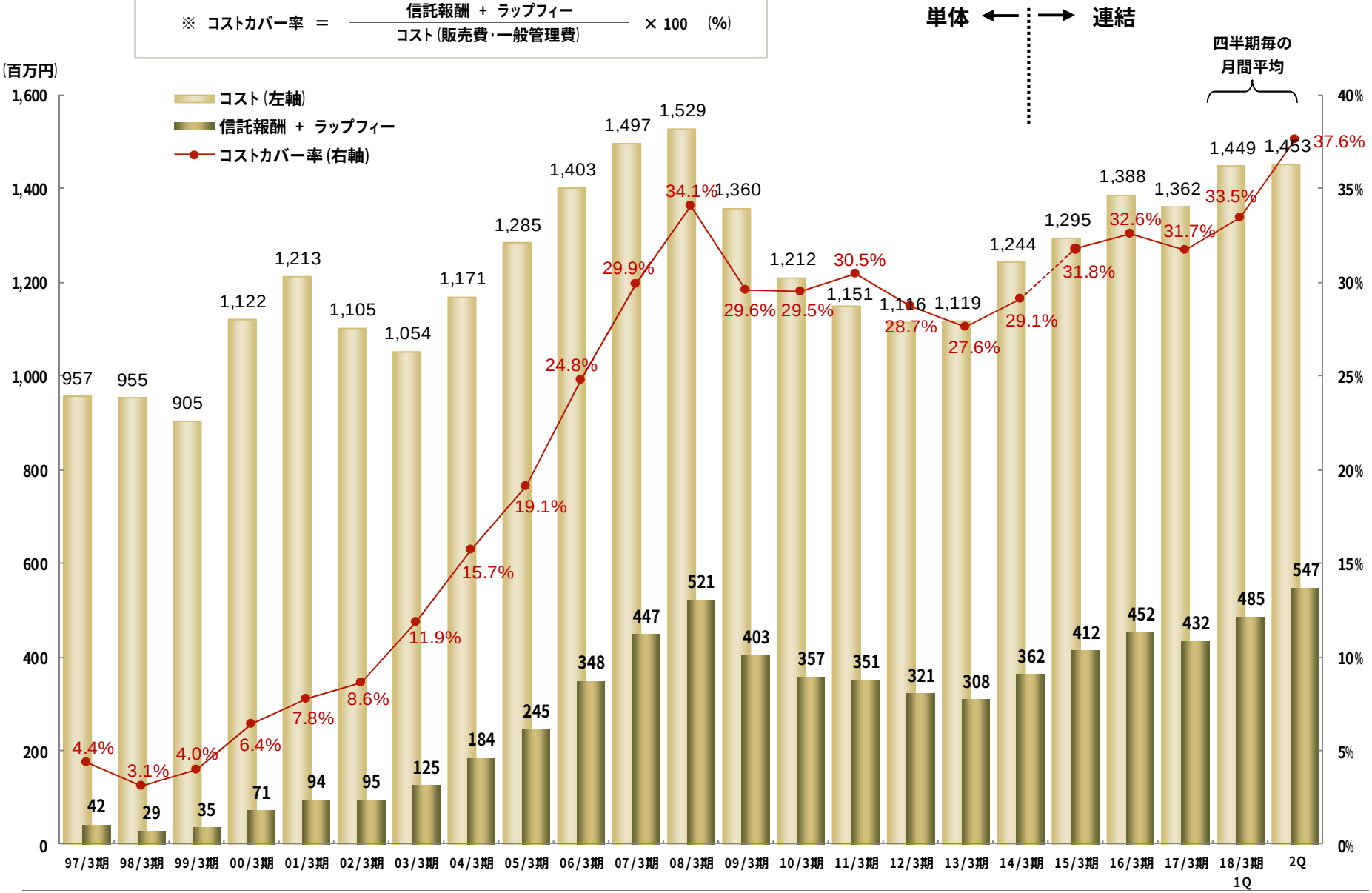


※ 株式投信残高はＭＲＦ、ＭＭＦ、外国投信、私募、Ｆファンドを除く

コストカバー率（月額平均）の推移

ICHIYOSHI SECURITIES

※ コストカバー率 ＝ 信託報酬 ＋ ラップフィー ／ コスト（販売費・一般管理費） × 100 （%）



成長戦略＝「ブランド･ブティックハウスの構築」のキーポイント

１．個人富裕層の金融資産アドバイス・ビジネスの拡大

① 「ベース資産」拡大 ＝「投信ベース資産」･「株式ベース資産」

「ベース資産」拡大 ⇒ 「アクティブ資産」拡大

② お客様ニーズに沿ったコンサルティング営業の定着 ＝ 「ドリーム･コレクション」の拡大

２．中小型成長株特化の進展

① 運用力強化 ―　いちよし経済研究所の「リサーチ力」

＋

いちよしアセットマネジメントの「運用力」

実質金融資産マイナスのトレンドへ

- 個人富裕層　⇒ 預貯金の減価
- 地域金融機関 ⇒ 国債中心の運用からエクイティを含めた運用の多様化へシフト

② 中堅企業における投資銀行ビジネスの拡大

ⅰ）IPO　ⅱ）PO　ⅲ）資本政策　等

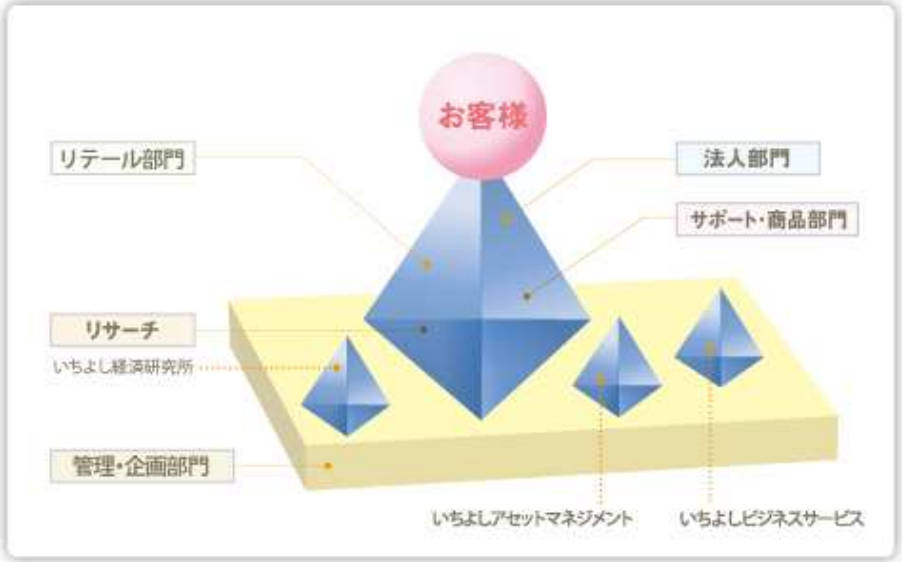
③ 中小型成長株における機関投資家ビジネスの拡大

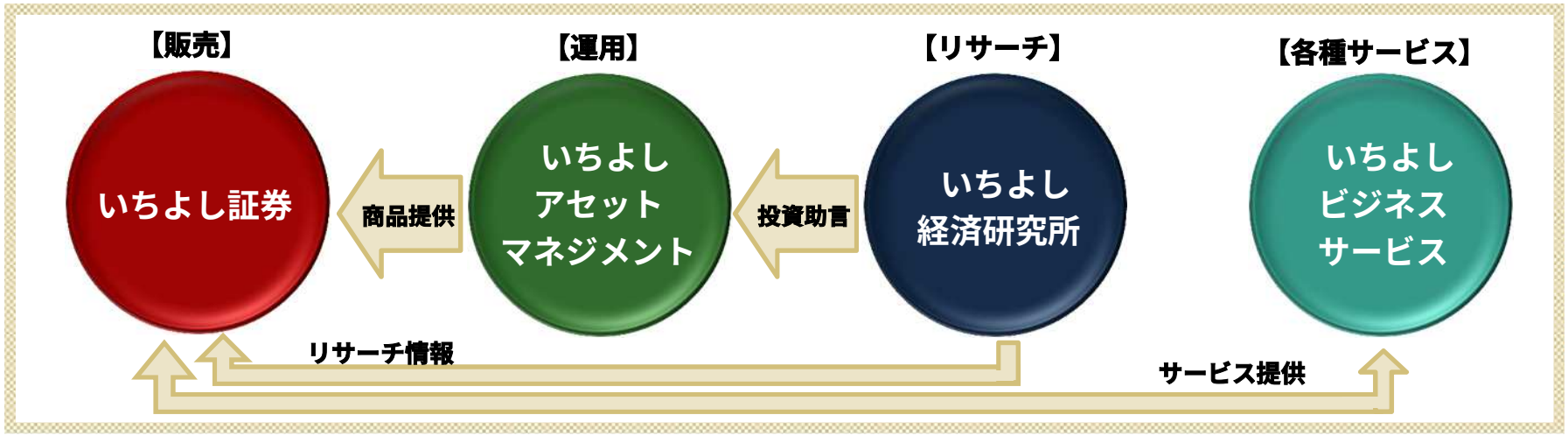
守る資産（ベース資産）
増やす資産（アクティブ資産）
を組み合わせてお客様のニーズに合ったポートフォリオを構築する



中期経営計画達成に向けて：グループの総合力の発揮

「トライアングル・ピラミッド経営」によるシナジー効果





いちよし経済研究所のリサーチ力

1 18名のアナリストを擁し、一人あたり月間平均13本の個別企業レポートを発行

2 中小型・新興市場のカバー率はトップ

3 新興市場部門アクセス比率ランキングにて13年連続第1位

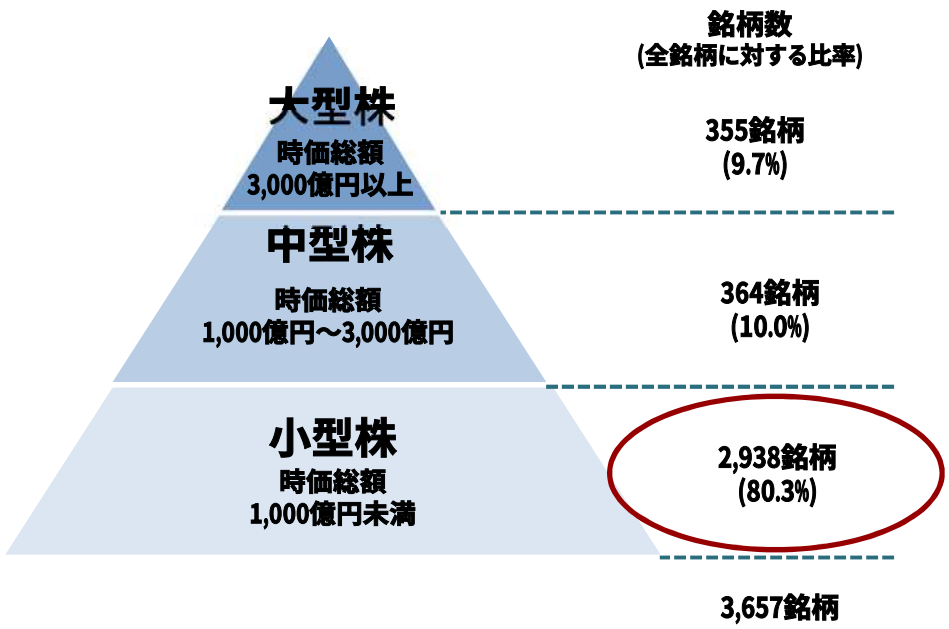
新興市場部門 アクセス比率ランキング

（出所：J-MONEY2017Spring）

順位	証券会社名	ｱｸｾｽ比率
1	いちよし経済研究所	30.73%
2	みずほ証券	9.22%
3	三菱UFJﾓﾙｶﾞﾝ・ｽﾀﾝﾚｰ証券	7.81%
3	野村證券	7.81%
5	東海東京調査ｾﾝﾀｰ	6.95%

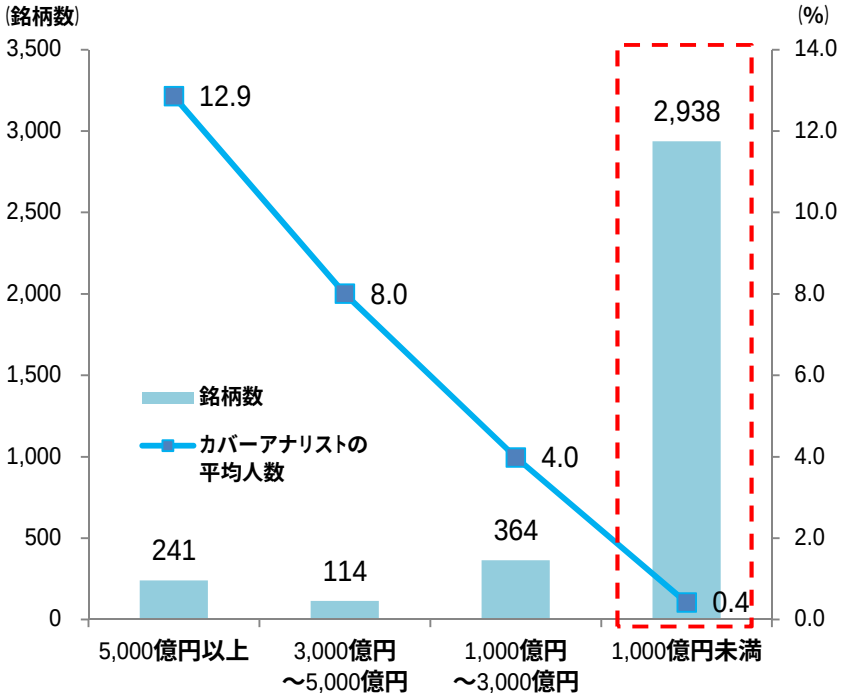
いちよし経済研究所のリサーチ力：アプローチ

日本株式市場の時価総額規模別の銘柄数分布



(2017年3月31日現在、Bloombergデータよりいちよしアセットマネジメント作成)

時価総額別カバーアナリストの数



(2017年3月31日現在、Bloombergデータよりいちよしアセットマネジメント作成)

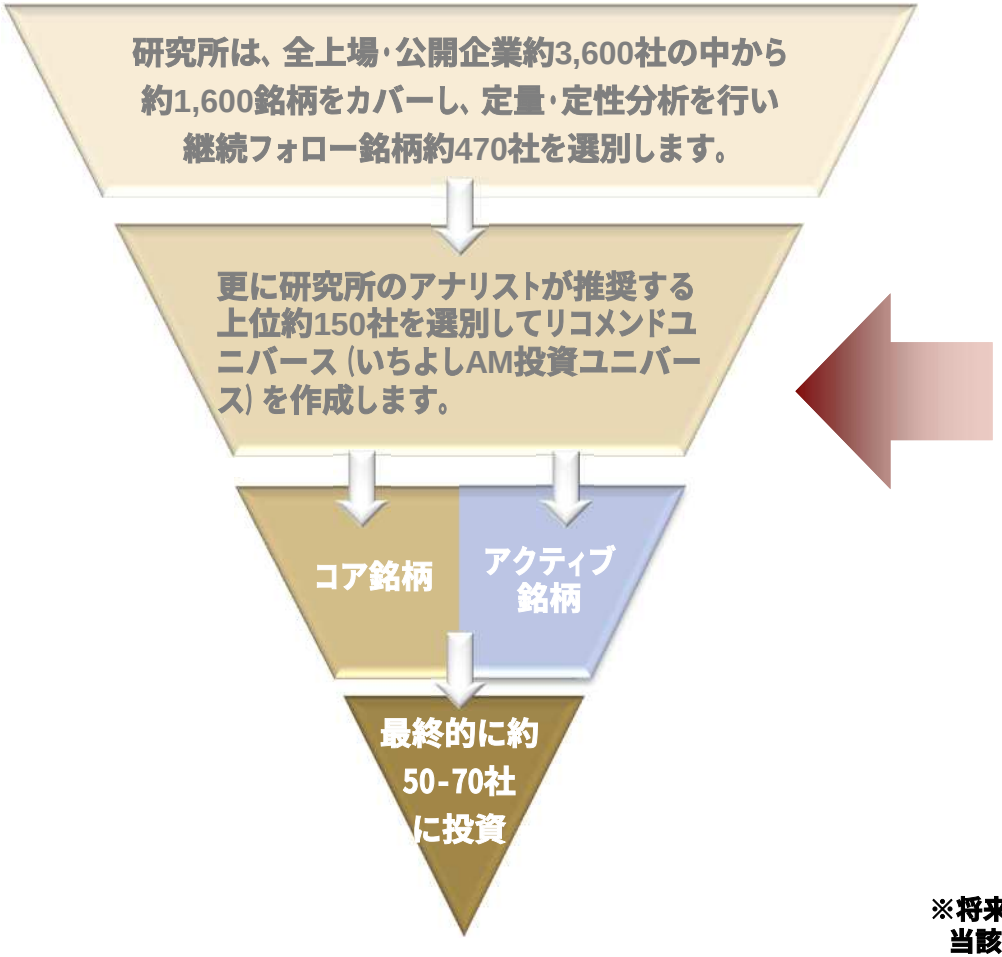
上場株式の約9割を占める中小型株式のリサーチに特化しており、小型株群を面でカバーできる

カバーするアナリストが少ない小型株式の情報量は少なく、実体価値が株価に反映されていない銘柄が多数存在

いちよし経済研究所は全上場企業約3,600社の中から、時価総額100～2,000億円規模で、成長している企業をターゲットとして約470社をユニバース銘柄とし、そのうち約240社にレーティングを付与

いちよしアセットマネジメントの銘柄選定プロセス（いちよし経済研究所のリサーチ力をベース）

ICHIYOSHI SECURITIES



AMファンドマネージャーによる直接取材

ポートフォリオの構築

投資候補銘柄の継続フォロー

常時最適なポートフォリオを維持

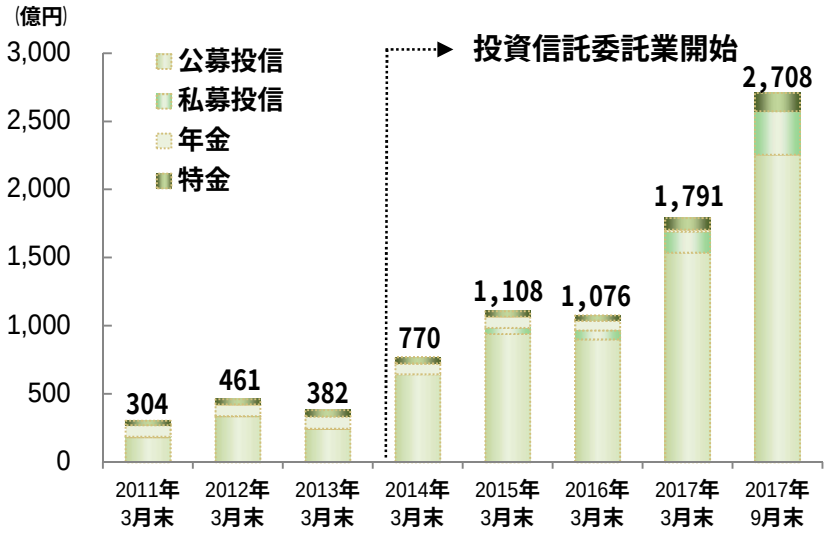
※将来の市場環境の変動等により、上記のような運用ができない場合や当該運用方針が変更される場合があります。

いちよしアセットマネジメントの運用力

1 5名のファンドマネージャーによるボトムアップリサーチに基づいた中小型株式のアクティブ運用

2 いちよし中小型成長株ファンド（愛称：あすなろ）は国内中小型株ファンドの純資産残高日本一

いちよしアセットマネジメント 運用資産残高の推移



	2011年3月末	2012年3月末	2013年3月末	2014年3月末	2015年3月末	2016年3月末	2017年3月末	2017年9月末
営業収益	101	137	184	280	577	1,000	1,158	1,010
当期損益	▲37	5	61	104	273	277	289	256

(単位：百万円)

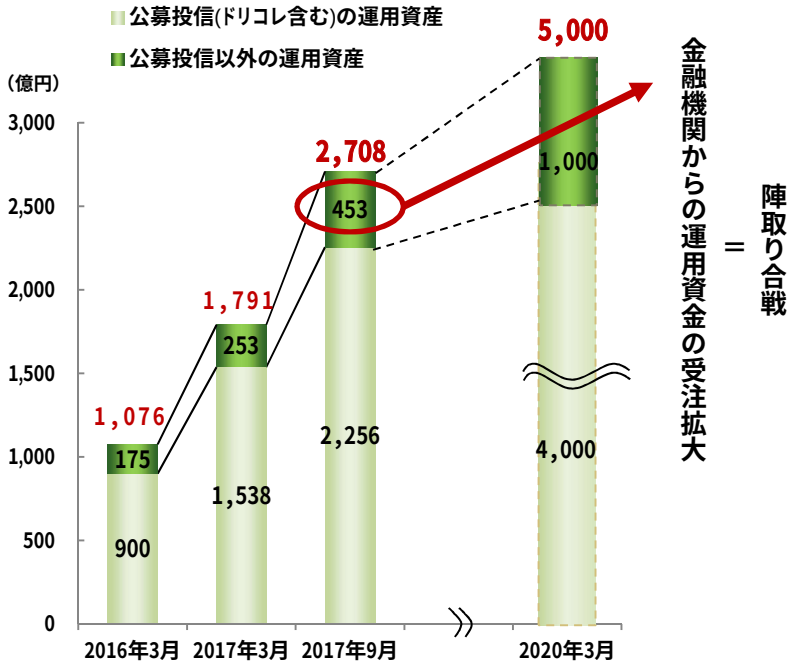
[参考] 国内中小型株ﾌｧﾝﾄﾞ純資産残高上位5位

順位	ファンド名	純資産
1	いちよし中小型成長株ﾌｧﾝﾄﾞ	1,008億円
2	ﾌｨﾃﾞﾘﾃｨ・日本小型株・ﾌｧﾝﾄﾞ	342億円
3	日本厳選中小型株ﾌｧﾝﾄﾞ	298億円
4	ﾆｯﾎﾟﾝ中小型株ﾌｧﾝﾄﾞ	261億円
5	ｲﾝﾍﾞｽｺｼﾞｬﾊﾟﾝ成長株・夢ﾌｧﾝﾄﾞ	252億円

(ファンドマークのデータをもとにいちよし証券作成 2017年10月31日現在)

いちよしアセットマネジメントの運用力

いちよしアセット運用資産残高推移



個人投資家からの公募投信の残高を積み上げていくとともに、金融機関からの運用資金の受注を拡大していく

私募投信・特金残高推移

(単位：億円)

		2016年3月末	2017年3月末	2017年9月末
金融機関向け私募投信		102	186	297
	法人	94	173	272
	リテール	8	13	25
投資顧問付特金		38	85	134
合計		140	271	431

金融機関が国債中心の運用からエクイティを含めた運用の多様化へシフトしている中、ニーズに対応するため体制を強化

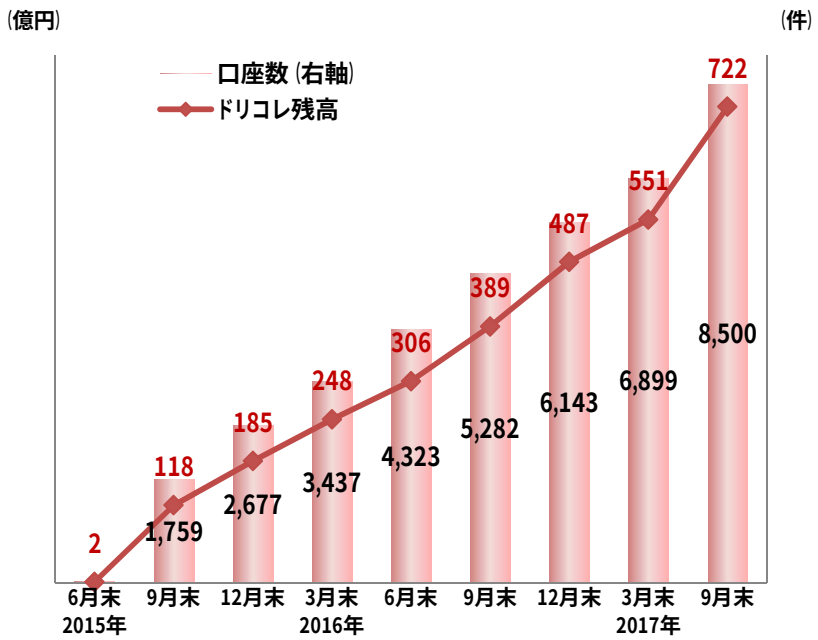
いちよし証券の販売力

1 アセットを積み上げるストック型のビジネスモデル

2 ２つの特化戦略

① 個人富裕層の金融資産運用サービス特化
② 中小型成長株と中堅企業、地域金融機関のニーズ対応サービス特化

ドリーム・コレクション残高推移



優位性の高いサービスであると同時にコンサルティング営業の定着により残高が増加

あすなろ残高推移



1年半を経たずに残高が1,000億円を超え募集停止となる。国内中小型株ファンドでは純資産残高日本一

いちよし証券の販売力

政府保有株式売出しの引受シェア

■東日本旅客鉄道（1999年）

	証券会社名	引受ｼｪｱ
1	野村證券	45.00%
2	大和証券ｴｽﾋﾞｰｷｬﾋﾟﾀﾙ・ﾏｰｹｯﾂ	10.00%
2	日興ｿﾛﾓﾝ・ｽﾐｽ・ﾊﾞｰﾆｰ証券	10.00%
4	勧角証券	2.60%
4	国際証券	2.60%
4	新日本証券	2.60%
4	和光証券	2.60%
8	岡三証券	1.30%
8	ｺｽﾓ証券	1.30%
8	東海丸万証券	1.30%
8	東京証券	1.30%
8	ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙ証券	1.30%
13	太平洋証券	0.65%
13	第一証券	0.65%
13	東洋証券	0.65%
13	丸三証券	0.65%
13	水戸証券	0.65%
13	明光ﾅｼｮﾅﾙ証券	0.65%
13	山種証券	0.65%
20	藍澤証券	0.20%
20	一吉証券	0.20%
20	大東証券	0.20%
20	髙木証券	0.20%
20	立花証券	0.20%
20	千代田証券	0.20%
20	東京三菱ﾊﾟｰｿﾅﾙ証券	0.20%
20	東和証券	0.20%
20	日本ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ証券	0.20%
20	丸宏大華証券	0.20%
20	ﾜｰﾙﾄﾞ日栄証券	0.20%

他26社

■東海旅客鉄道（2005年）

	証券会社名	引受ｼｪｱ
1	野村證券	35.00%
2	大和証券ｴｽｴﾑﾋﾞｰｼｰ	12.71%
2	日興ｼﾃｨｸﾞﾙｰﾌﾟ証券	12.71%
4	新光証券	4.26%
4	三菱証券	4.26%
4	UFJつばさ証券	4.26%
7	みずほ証券	3.70%
8	SMBCﾌﾚﾝﾄﾞ証券	2.07%
8	岡三証券	2.07%
8	東海東京証券	2.07%
11	藍澤証券	0.68%
11	いちよし証券	0.68%
11	SBI証券	0.68%
11	ｺｽﾓ証券	0.68%
11	東洋証券	0.68%
11	丸三証券	0.68%
11	水戸証券	0.68%
18	ｴｲﾁ・ｴｽ証券	0.20%
18	ｴｰｽ証券	0.20%
18	極東証券	0.20%
18	そしあす証券	0.20%
18	髙木証券	0.20%
18	立花証券	0.20%
18	中央証券	0.20%
18	内藤証券	0.20%
18	日本ｱｼﾞｱ証券	0.20%
18	日の出証券	0.20%
18	ﾗｲﾌﾞﾄﾞｱ証券	0.20%
18	ﾘﾚﾗ・ｸﾚｱ証券	0.20%

他16社

■日本航空（2012年）

	証券会社名	引受ｼｪｱ
1	大和証券	35.00%
2	みずほ証券	15.67%
2	三菱UFJMS証券	15.67%
4	野村證券	14.00%
5	SMBC日興証券	10.33%
6	岡三証券	2.10%
7	東海東京証券	1.61%
8	岩井ｺｽﾓ証券	0.96%
9	丸三証券	0.70%
10	いちよし証券	0.56%
11	東洋証券	0.48%
11	水戸証券	0.48%
11	藍澤証券	0.48%
14	日本ｱｼﾞｱ証券	0.22%
14	髙木証券	0.22%
14	むさし証券	0.22%
14	ｴｰｽ証券	0.22%
14	極東証券	0.22%
14	ちばぎん証券	0.22%
20	ｴｲﾁ・ｴｽ証券	0.12%
20	かざか証券	0.12%
20	ﾘﾃﾗ・ｸﾚｱ証券	0.12%
20	光世証券	0.12%
24	SBI証券	0.06%
24	ﾏﾈｯｸｽ証券	0.06%
24	松井証券	0.06%

■日本郵政（2017年）

	証券会社名	引受ｼｪｱ
1	大和証券	26.54%
1	野村證券	26.54%
3	みずほ証券	10.09%
3	三菱UFJMS証券	10.09%
5	SMBC日興証券	9.08%
6	岡三証券	1.50%
6	東海東京証券	1.50%
8	SBI証券	1.05%
9	いちよし証券	0.86%
9	SMBCﾌﾚﾝﾄﾞ証券	0.86%
11	藍澤証券	0.46%
11	岩井ｺｽﾓ証券	0.46%
11	ｴｰｽ証券	0.46%
11	東洋証券	0.46%
11	ﾏﾈｯｸｽ証券	0.46%
11	丸三証券	0.46%
11	水戸証券	0.46%
18	内藤証券	0.23%
18	日本ｱｼﾞｱ証券	0.23%
18	ふくおか証券	0.23%
18	松井証券	0.23%
18	むさし証券	0.23%

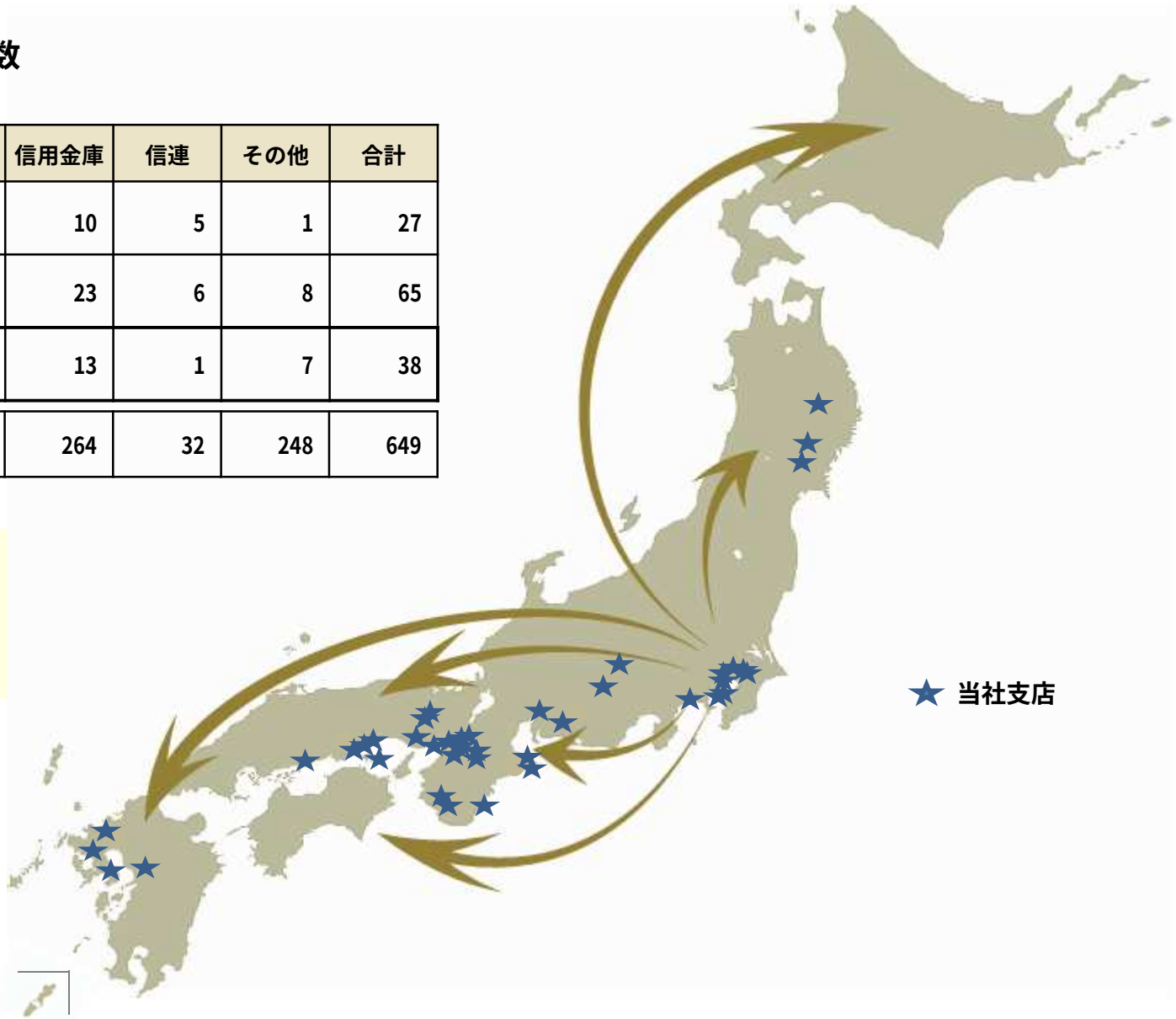
他39社

取引金融機関の拡がり

取引金融機関数

	地方銀行	信用金庫	信連	その他	合計
2016年 9/30現在	11	10	5	1	27
2017年 10/31現在	28	23	6	8	65
増加数	17	13	1	7	38
全国 金融機関数	105	264	32	248	649

金融公共法人本部を新設（9名体制）
＋
アドバイザー本部各支店



いちよしグループ４つの国内No.1の強み

1 コンプライアンス力

「売れる商品でも、売らない信念」「クレド」「いちよし基準」など法令の範囲にとどまらない社内基準を持った企業風土に加え、本社と支店が一体となった強固なモニタリング体制は、自主規制団体や外部の有識者の方々から高い評価を頂いております。

2 リサーチ力

中小型・新興市場企業のカバー率がトップのいちよし経済研究所は、ベストリサーチハウス・ランキング、新興市場部門で13年連続トップというご評価を頂いております。

3 国内中小型株投資信託の運用力

いちよしアセットマネジメントが運用する「いちよし中小型成長株ファンド（愛称：あすなろ）」は国内中小型株ファンドの純資産残高日本一です。
金融機関向け国内中小型株投信（私募投信）でも好パフォーマンスを記録しています。

4 コーポレートガバナンス力

当社は、指名委員会等設置会社であり、日本コーポレート・ガバナンス研究所が公表している「ＪＣＧインデックス」において総合2位（金融機関では1位）に選定されています。

ステークホルダーへの価値創造に係る取組み

ICHIYOSHI SECURITIES

クレド（企業理念）

経営理念

お客様に信頼され、選ばれる企業であり続ける

経営目標

金融・証券界のブランド・ブティックハウス

行動指針

感謝　誠実　勇気　迅速　継続

Long Term Good Relation

社員のために
社員の個性を尊重し人材の育成に努める

いちよし精神
情熱をもって、真摯に努力し続けます。

働きがい
チームワークを重視し、社員の能力・創造性を活かした自由闊達な企業風土を構築します。

お客様のために
一人、一人の『いちばん』でありたい

お客様第一
常に、お客様の立場に立ち、まごころを込めて、アドバイスを行います。

良質なサービス
社会や市場の変化に対応し、質の高い商品やサービスを提供します。

株主のために
持続的な業績向上を図り企業価値の増大に努める

株主還元
事業の収益性と財務の健全性を高め、株主への利益還元を図ります。

情報の開示
経営の透明性を確保するために、情報を適切に開示し、IR活動に努めます。

社会のために
金融・証券市場の担い手として社会の発展に貢献する

社会的責任
法令・諸規則を遵守し、高い倫理観をもって行動します。

社会貢献
企業活動を通じて地域社会と証券市場の発展に貢献します。

2006年に制定されたクレドは、主要なステークホルダーについてそれぞれを尊重することを宣言するとともに具体的な行動指針を定めています。

お客様のために



「売れる商品でも、売らない信念。」

20年来守り続けている個人のお客様向け商品についての原理原則

「お客様信頼向上委員会」の設置

お客様目線で業務を見直し、サービス・商品についての改善を強化・実践

社員のために

「働きやすい・やりがいのある職場」作りの取組み

金曜日定時退社、有給休暇の取得の促進、特別休暇の見直し、万一の傷病時のサポート策の導入、研修制度の充実、社員寮のリニューアル、住宅・子供手当等の見直し

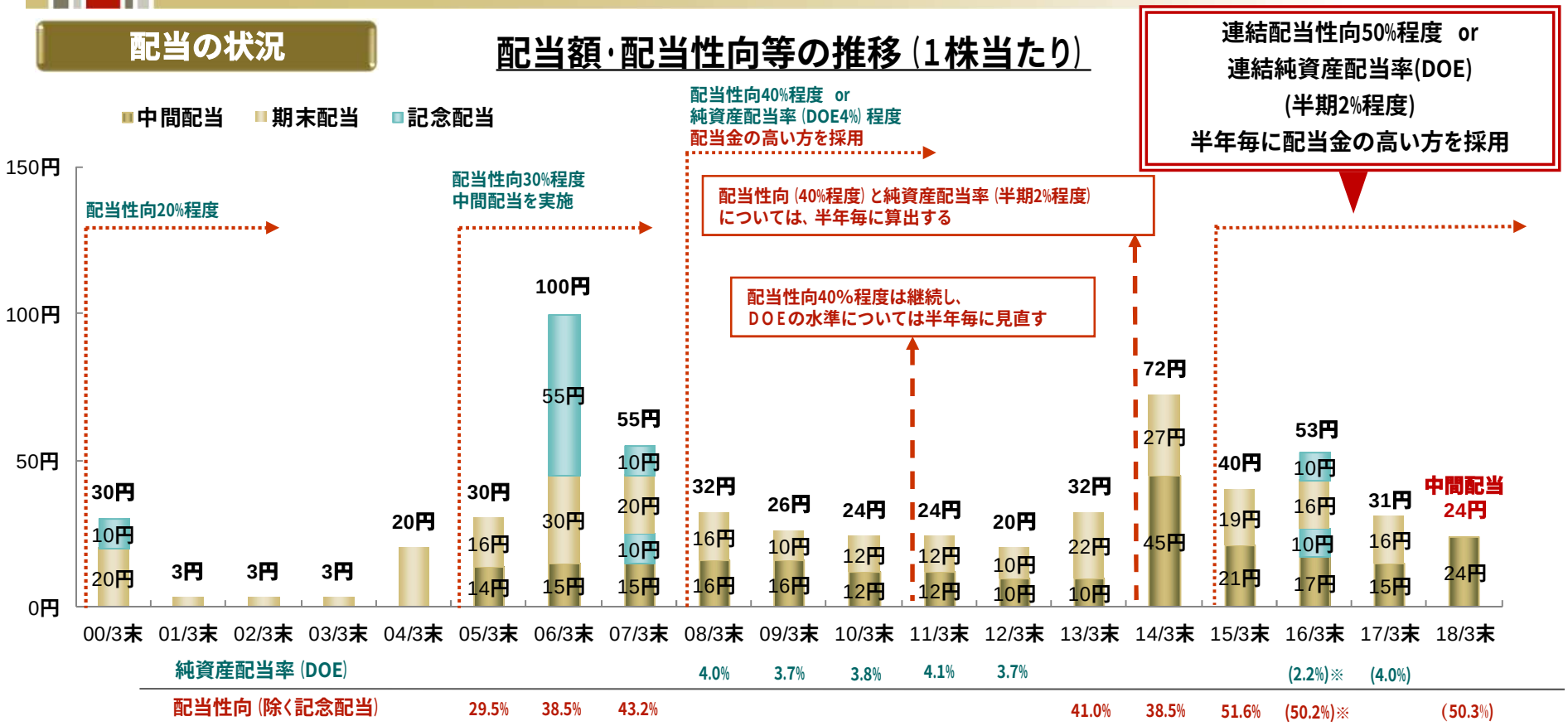
「女性活躍」に関する取組み

管理職に占める女性の割合10.8% → 15%目標（2021年）
出産準備休暇等の休日休暇及び短時間勤務制度等の福利厚生の制度充実、結婚・出産・育児等を理由に退職した女性を再雇用する「リターン・トゥ・ワーク制度」の導入

株主還元　- 株主のために -

配当の状況

配当額・配当性向等の推移（1株当たり）



※16/3末については、中間配当につき配当性向、
期末配当につきDOEを採用
各々につき半期ベースにて計算した数値を記載

自己株式の消却

				消却率
1998年9月～2004年1月	自社株買い／消却	11,841,000株	@264.55円	20.2%
2008年1月～3月	自社株買い／消却	1,699,200株	@1,032.31円	3.5%
2008年11月～2009年1月	自社株買い／消却	1,957,500株	@673.03円	4.2%
	合計	15,497,700株		合計　27.9%

（参考）
2017年9月末発行済株式数　44,431,386株
（うち自己株式　1,752,881株）

地域貢献、CSR活動　- 社会のために -

【地域貢献】　本社周辺の清掃活動　（2003年～）

平日の毎朝、本社周辺の清掃活動を行っております。また、支店でも同様の清掃活動や地域のイベントなどへ積極的に参加しております。

【寄贈による社会貢献】　「a piece of gift ～ひとかけらの贈り物～」　（2006年～）

役職員から「使用済切手」「書き損じ葉書」「使用済携帯電話」を集める取組みを行っており、各種団体に寄贈しております。

【寄付による社会貢献】

PLAN INTERNATIONAL　AMDA　FoE Japan　世界の医療団　公益財団法人 日本盲導犬協会



校舎建設プロジェクト

東アジア８ヶ国に
11校建設

（1996年～2017年6月）



いちよしマングローブの森
プロジェクト

累計植林数
285,000本

（2009年～2017年3月）



マラリア治療薬

約8,700人相当

（2009年～2017年3月）



“ いちよし盲導犬 ” 育成

盲導犬
５頭が活躍中

（2005年～2017年7月）

【参考】当社提供番組　「暦を歩く」

あなたのハートに BS朝日 5

日本には四季がある、歌がある。



歌い継がれてきた「和歌」や「俳句」、
「唱歌」や「童謡」を口ずさむと去来する、どこか懐かしい思い。
それぞれの歌に息づく日本人の心の風景を、
一篇の詩のような美しい映像でお届けします。

毎週日曜よる8時54分～ 放送中



提供 いちよし証券　語り／長谷川 勝彦　企画協力／CFA　制作／BS朝日 テレコムスタッフ

コーポレート・ガバナンスの取組み

JCGインデックスにおいて金融機関の第１位

・日本コーポレート・ガバナンス研究所が公表している「ＪＣＧインデックス」において総合２位、
金融機関では１位に選定

日本コーポレート・ガバナンス研究所「ＪＣＧインデックス」

順位	前回順位	JCG Index	企業名
1	1	89	ソニー株式会社
2	**2**	**79**	**いちよし証券株式会社**
2	2	79	株式会社日立製作所
2	2	79	オムロン株式会社
5	10	78	エーザイ株式会社
5	2	78	スミダコーポレーション株式会社
5	-	78	※(１社)
8	7	74	コニカミノルタ株式会社
9	-	72	いちご株式会社
10	-	71	株式会社パルコ
10	12	71	株式会社りそなホールディングス
10	-	71	※(１社)

※（　　）内は公表を希望しない会社数



出所：日本コーポレート・ガバナンス研究所
ランキングは2016年12月公表

当社の主な取組み

・ガバナンス体制
　2000年　社外取締役の導入
　2003年　現在の指名委員会等設置会社制度を導入
・株主総会
　2001年　土曜日開催
　2002年　株主懇談会開催
　2005年　会場をホテルで開催
・ＩＲ活動
　2000年　機関投資家向け、個人投資家向け説明会を開始
　2005年　海外機関投資家向け説明会を開始

一人、一人の、『いちばん』でありたい。



いちよし証券

問い合わせ先　　いちよし証券株式会社　広報室

TEL：03-3555-6343　FAX：03-3555-2165

http://www.ichiyoshi.co.jp

この資料は、当社の情報提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。このページに掲載された資料の情報に基づき、株式等の有価証券投資を判断される場合には、銘柄の選択、売・買の別、投資の時期などの最終決定はご自身の判断でなさるようお願いいたします。

この資料に記載された計画や見通し等は、資料作成時点の当社の判断であり、その実現・達成を保証・約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。

この資料は2017年9月30日現在のデータに基づき作成しております。

商号等　：いちよし証券株式会社
　　金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第24号
加入協会：日本証券業協会、一般社団法人 日本投資顧問業協会